



伝える。

高校時代から「ことば」について学びたいと思っていました。
言語情報コースでは、言語を通してあらゆる情報に触れることができたいです。
また脳内での言語処理が行われる過程を学ぶ複雑な講義もあるので、
毎回がとても新鮮です。
将来はことばを通して人に情報を伝達する仕事がしたいと思っています。

文学部 言語文化学科 言語情報コース 3回生
Yano Satoru
矢野 悟

文学部



文化を知り社会を知り

「人間学」の探究者となる

世界へひろがる好奇心

文学部に共通するのは、人間と人間の作りあげてきた文化を総体として深く理解しようとする姿勢です。人の知恵や行動に関心をもち、そのすべてに真摯な態度で接しようという「マラム」が根底にあります。また、わたしたちの探究心と知的な好奇心は地球上いたるところへ広がります。本学部では、人間自身と、人間が生み出した言語・思想・宗教・文学・歴史・制度などの文化的事象と社会的現象を広く研究対象ととらえています。

大阪は近世以来商都として知られ、ともすれば実利を尊ぶ風気が強調されることがあります。しかし町人たちはすぐれて知性的で学問を好み芸術を愛しました。豪商たちは町民のための学問所を創り、第1級の人材を育てることに力を注ぎました。文学部はこの誇るべき都市の伝統に根を下ろし、また発展させる役割を担っています。

少人数教育を通じて21世紀に

通用する「人間学」を体得する

「哲学歴史学科」「人間行動学科」「言語文化学科」の3学科計15の履修コースからなる本学部では、各コースとも、一学年、数名から十数名

という徹底した少人数編成を採用しています。

各コースが提供する多彩な科目の中から、学生たちは各自の関心に沿ってカリキュラムを組み立て、専門的もしくは学際的なテーマを探究していくことができます。

本学部では多様な領域にまなざしを向けることで文化や社会を生み出し、そこで思考し行動する人間の本質に迫る能力を養い、国際社会に生きるわたしたちにとってなくてはならない「人間学」の知識と「コミュニケーション能力」などの実践的な力を体得することを目的としています。



こんな学生を求めています！

人間・文化・社会に対する知的な好奇心と探究心の旺盛な皆さんの入学を期待しています。

文学部はわかりQ & A

Q 文学部の特色とは？

A 文学部を「小さな総合大学」とも呼ばれたい。学問の幅・間口の広さが最大の特色です。伝統ある、哲学・哲学史コースから思想・文学・演劇・音楽・美術・映画・モード・サブカルチャーを現代的な視点から研究する、表現文化コースまで、多彩な「知」へつながる扉が用意されています。学生は多様な選択肢から勉強したい領域を選択することができます。しかもしっかりと専門的に学ぶことができます。

Q コースは、どのように選べばよいのでしょうか？

A コースにわたれるのは2年次からです。入学後の1年間は、専攻を決めないままに幅広く講義を受けることになります。そのあたりに自分を見つめなおし、もっとも関心のある専門分野は何かを見極めて、進路すなわちコースを選択してください。迷った場合は、1年生の担任教員が適切なアドバイスをくれることでしょう。また、各コースのガイダンス先輩からの情報も参考になるでしょう。

Q 卒業後は、どのような進路がありますか？

A 文学部では、国語・社会・地理歴史・公民・外国語の教員免許状の他、博物館学芸員の資格を取得することができます。卒業後の進路は流通業・情報関連産業・教員・学芸員・官公庁・マスコミ等多岐にわたっています。文学部で培われ身につけた「人間学」は社会においても十分に有効性を発揮します。



文学部

授業科目・講座一覧

3学科15履修コースを擁する「小さな総合大学」

哲学歴史学科

【哲学・哲学史コース】(第1部のみ)

【哲学コース】(第2部のみ) 哲学とは、私たちが生きるこの世界と、人間存在が占めている位置についてさらには私たちの知識の成り立ちと根拠についてめきめきにする学問です。本コースでは、古代ギリシアから現代にいたる西洋哲学の古典的文献について学び、論理的かつ批判的に考えるために必要な素養を身につけます。

【倫理・宗教コース】(第1部のみ) 哲学の実践的問題に焦点を当て、西洋哲学と東洋思想の古典を学び、現代社会において「よく生きる」とはどのようなことを深く考究します。また、よく生きる「こと」と宗教とのかわりあいについても学びます。

【日本史コース】遺跡・遺物記録や日記、近現代の公文書といった史資料をもとに、政治史、社会史、都市史、文化史など多様な視点から、古代から現代にいたる日本の歴史を幅広く学びます。古文書の調査・整理やフィールドワークに参加する機会も多く、博物館などの文化行政や教育の現場で活躍する人材を養成します。

【世界史コース】中国・朝鮮・東南アジア、中東、ヨーロッパ、アメリカなど全世界を対象に、古代から現代までの歴史を探究します。古今東西の史料を読み解き、各地域の特質や、各社会の政治的、文化的背景をあきらかにします。また、美術史、考古学についても知識を深めることができ、広い視野をもつ国際的な教養人を育成します。

人間行動学科

【社会学コース】人間がつくりだした社会に焦点をあて、そこにたち現れる現象を科学的に分析します。諸制度、都市、家族、産業と労働、文化と情報、メディアなど、生活の諸相を多角的に学びます。

【心理学コース】心のはたらきという目に見えない現象を、行動という客観的な指標を通してあきらかにします。さらに生理、感覚・知覚、認知学習、発達、社会、性格といった、心のはたらきさまざまな側面について、深く学びます。

【教育学コース】教育は、個人の生涯にわたる自己形成によい影響をもたらすものでなければなりません。同時に、社会的な価値・規範の伝達に關して、普遍的かつ妥当性のある解答を探ることも教育の使命です。人間そのものについて深い理解を得るため、教育の方法論、制度、歴史について学びます。

【地理学コース】世界には、都市、農村、先進諸国、第三世界など、さまざまな地域・場所が存在します。地理学は諸地域のなりたちと現状を解きあかし、将来像を描きだす実践的な学問です。旺盛なフィールドワークを通じて、地域の現実やメカニズムを把握し、その成果を社会にフィードバックする能力を養います。

言語文化学科

【国語国文学コース】古代から現代に至る日本語と、近世以前の古典文学を学びます。緻密な文

献の読解に重きを置き、根拠を示しつつ着実に論を展開させていく実証的な研究姿勢を修得し、日本文化の究明を目指します。

【中国学コース】文学・思想・語学の三分野からなります。真の語学力を基礎に、漢文・唐詩で知られる古典文学から近現代文学までを幅広く読みとぎ、かつ儒教・仏教・道教などに流れる豊かな思想を学びます。

【英米言語文化コース】世界の共通言語と化したある英語の運用能力をつちかい、英米文学、英語学、英米文化の三分野について、広い視野と深い洞察力をもって学びます。

【ドイツ言語文化コース】ドイツ語の能力を幅広く、独自の個性と深みをそなえたドイツ語文化圏(ドイツ、オーストリア、スイスの言語・文学・文化を、さまざまな角度から探求します。

【フランス言語文化コース】欧州、アフリカ、カナダなどで使用される国際語でもあるフランス語の力をつつ、フランスの文化・文学・言語・社会などについて学び、フランスに関する総合的な知識を身に着けます。

【言語情報コース】(第1部のみ) 言語データの処理・分析、複数言語の相違点などの考察、コンピュータを活用したコミュニケーション能力の開発など、言語の可能性を開く研究を行ないます。

【表現文化コース】(第1部のみ) 現代的な視点から、思想・文学・演劇・音楽・美術・映画・モード・サブカルチャーなどを対象とした比較研究を展開します。柔軟で斬新な研究が可能です。

